

ページ	誤	正
5	表「QNDサーバ」	「V スレーブサーバのインストール」
5	表「QNDサーバ」	「VII アンインストール 4 QNDコンソールのアンインストール」,「6 マスターサーバのアンインストール」
6	表「任意インベントリ」	…「I インベントリ収集 3-4 任意インベントリを収集する設定」
7	表「SNMPインベントリ」	…「I メニュー 9-1 SNMPによるホスト検索/登録」…
7	表「自動インストール設定ファイル」	「Visual Test作成した、ソフトウェアを自動インストールするための設定ファイル」
9	表「デスクトップスタンプ」	「運用編」マニュアルの「II ホスト管理 6 デスクトップにスタンプと文字列を表示する」
16	管理対象PC:500クライアント以上の場合「QNDコンソール」	・Windows NT 4.0 Server (SP6a)
16	管理対象PC:500クライアント以上の場合「QNDコンソール」	・Windows NT 4.0 Workstation (SP6a)
16	管理対象PC:500クライアント以上の場合「QIVコンソール」	・Windows NT 4.0 Server (SP6a)
16	管理対象PC:500クライアント以上の場合「QIVコンソール」	・Windows NT 4.0 Workstation (SP6a)
17	管理対象PC:1000クライアント以上の場合「QNDコンソール」	・Windows NT 4.0 Server (SP6a)
17	管理対象PC:1000クライアント以上の場合「QNDコンソール」	・Windows NT 4.0 Workstation (SP6a)
17	管理対象PC:1000クライアント以上の場合「QIVコンソール」	・Windows NT 4.0 Server (SP6a)
17	管理対象PC:1000クライアント以上の場合「QIVコンソール」	・Windows NT 4.0 Workstation (SP6a)
17	管理対象PC:1000クライアント以上の場合「QNDクライアント」	・WindowsNT3.51(*6)
17	管理対象PC:1000クライアント以上の場合「QNDクライアント」	・Windows3.1(*6)
38	スレーブサーバの図の下の説明	①コンソールからマスターサーバへ指示
38	スレーブサーバの図の下の説明	②マスターサーバからホストへ指示。通常はマスターからホストへ指示(UDP)するが、ホストがNAT対応の場合はスレーブサーバ経由で指示(TCP)。
38	スレーブサーバの図の下の説明	③④ホストからデフォルトサーバへタスクの設定内容を問い合わせし、タスクの内容を処理 (③④ アプリケーションDB に関するタスクの問い合わせはマスターサーバ)
39	スレーブサーバの役割 ホストを分散化し管理するスレーブサーバ	・TCPモードの場合マスターサーバの指示に従ってホストにプッシュ実行する
39	スレーブサーバの役割 ホストを分散化し管理するスレーブサーバ	・各ホストへスケジュールを送信する
45	スレーブサーバからマスターサーバへ	設定箇所については「6-1 ホストを分散化し管理するスレーブサーバの場合 スレーブサーバで取得したホストやインベントリ情報をマスターサーバへ転送するには？」を参照してください。
61	章本文	…「VII QNDコンソールのインストール」を参照してください。
68	手順1	…unslave.exeを実行します。
71	1-2 ネットワーク環境に応じたQPオプションのモード選択 表の脚注	*2 マスターサーバからPINGが通る場合
73-74	表「参照先」	「VI クライアントのインストール」と記載されている箇所全て
75	章本文	「リファレンス」マニュアルの「II タスクのプロパティ 2 一般」の「Switch Userを使用する」を参照してください。
76	手順3	WindowsNT/2000/XPクライアントで…
76	インストール後の確認 表の上段	Windows2000/2003の場合
85	注意 特定OSに対しての実行機能の制限	…「3 Macintoshクライアントの制限」を参照してください。 …「付録 特定のクライアントについての制限 2-4 準備」を参照してください。
88	共有ファイルサーバを使用する	クライアントがWindows3.51の場合は、こちらを選択します。
95	「カスタム」を選択した時に表示される画面表 3行目	Switch User(NT系クライアントのみ有効)
95	手順4	「カスタム」を選択したWindowsNTの場合…開始します。 カスタムを選択したWindowsNT以外の場合…開始します。
98	「カスタム」を選択した時に表示される画面表 3行目	Switch User(NT系クライアントのみ有効)
98	手順6	…(WindowsNT系クライアントのみ)。
116	ご注意 手動でバージョンアップが必要なファイル	…%WinDir%\QAWLauncher.INI
129-131	3-2 QNDサーバを別PCIに移行してバージョンアップする場合	①～③に随所に記述されている下記の記述箇所全て 「3-1 既存のQNDサーバにバージョンアップする場合」
129	③別PCIに新規で、いままでも使用していたものと同じバージョンのQNDサーバをインストールする	…「QND Ver.8.5 導入編」マニュアルを参照してください。
130	⑤バックアップしたデータを戻す	「付録 ファイル構成一覧」を参照してください。
138	1-1 機能制限 箇条書きの1番目	対応クライアントOSとして、Windows98/98 Second Edition/ME/2000 Professional/XP Professional/NT Workstationの動作確認をしています。
139	2-1 動作環境 表「CPU」のClassic環境	PowerPC G3以降
139	2-1 動作環境 表「CPU」のMacOS X	PowerPC G4以降
139	2-2 実行可能タスク リード文	…「3-3 機能制限」を参照してください。
141	2-4 インベントリの保存場所	…「リファレンス」マニュアルの「付録」17 Macintoshインベントリ一覧」を参照してください。
146	3-3 QND Unixエージェントの運用準備	…QND製品CDの[QND]-[Unix]フォルダ…
146	3-4 コマンドラインオプションの説明	…QND製品CDの[QND]-[Unix]フォルダ…
147	3-5 コンフィグレーションファイル	…QND製品CDの[QND]-[Unix]フォルダ…
147	3-6 任意設定インベントリ	…QND製品CDの[QND]-[Unix]フォルダ…
148	3-9 インベントリ情報として収集できる項目 一覧	…「VII 付録 18 Unixエージェントインベントリ一覧」を参照してください。

New

QND8.6 運用編 正誤表

2004年10月22日 クオリティ株式会社

※今回新たに追加した内容はありません

ページ		誤	正
1	目次 「II ホスト管理」	「3 ホストをフィルタリングする」の次行	下記の追加をお願いします。 → 4 ホストに電子メールを送信する…………… ……………136
		4 デスクトップにスタンプと文字列を表示する	→ 5 デスクトップにスタンプと文字列を表示する
		5 ホスト管理例	→ 6 ホスト管理例
		6 グループ/フィルタの利用	→ 7 グループ/フィルタの利用
35	4-4 プッシュ実行	…「IV クライアントへのインストール」を参照してください。	→ …「VI クライアントへのインストール」を参照してください。
80	注意 ホスト側の情報も更新するには	…「10-1 管理者が設定/更新した情報を、ホストの任意インベントリに設定する」を参照してください。	→ …「10-1 管理者が設定/更新した情報を、ホストの任意設定インベントリに設定する」を参照してください。
101	画像 右上の吹き出し	「11-1 インベントリ情報の履歴を保存する」を参照してください。	→ 「11-1 インベントリ情報の履歴の保存設定」を参照してください。
105	II ホスト管理 目次	「3 ホストをフィルタリングする」の次行	下記の追加をお願いします。 → 4 ホストに電子メールを送信する…………… ……………136
		4 デスクトップにスタンプと文字列を表示する	→ 5 デスクトップにスタンプと文字列を表示する
		5 ホスト管理例	→ 6 ホスト管理例
		6 グループ/フィルタの利用	→ 7 グループ/フィルタの利用
150	クライアントでの操作 手順2	ホスト側に次のダイアログが表示されたら、支店名を選択します。	→ ホスト側に次のダイアログが表示されたら、支店名を選択し[次へ]をクリックします。
167	手順9	[▼]をクリックして、[Acrobat Reader 6.0]を選択します。	→ [▼]をクリックして、[Adobe Reader 6.0]を選択します。
	画像 「ソフトウェア名」	Adobe Acrobat Reader 6.0	→ Adobe Reader 6.0
	画像 「コメント」	…Adobe Acrobat Reader 6.0…	→ …Adobe Reader 6.0…
	画像 「アプリケーションDBを使用する」	Acrobat Reader 6.0	→ Adobe Reader 6.0
168	画像 インストールするソフトウェアの一覧 ソフトウェア名	Adobe Acrobat	→ Adobe Reader 6.0
241	Ctrl/Alt/Delの送信	…、WindowsNT3.51…	→ 削除
255	注意 QND Ver.8.6 ODBCドライバの制限事項	…本マニュアルの「4 付録ODBC機能のSQLに関する制限事項」…	→ …本マニュアルの「付録 ODBC機能のSQLに関する制限事項」…

QND8.6 リファレンス 正誤表

2004年10月22日 クオリティ株式会社

※今回新たに追加した内容はありません

ページ		誤	正
12	ハードウェアインベントリを既存インベントリとマッチングさせて出力する	既存インベントリは、「付録 ハードウェアインベントリ一覧」の…	→ 既存インベントリは、「付録 4 ハードウェアインベントリ一覧」の…
58	共有ファイルサーバを使用する	クライアントがWindows3.51の場合は、こちらを選択します。	→ 削除
105	管理者権限でレジストリ/INIファイルの取得を行うタスクを実行する場合	…Windows3.1…	→ 削除
133	表「解除するトータル時間を指定」の行		→ 削除
133	表「制限解除を終了する時間を指定(24時間制)」の行		→ 削除
137	表「セットアッププログラム名	ファイルをローカルパスで指定した場合は、ホストのローカルディスク上のファイルと解釈されます。	→ 左記の後ろに下記の内容を追記してください。 ただし、ネットワークボリュームが割り当てられたドライブ文字が含まれているパスを指定した場合正しく実行できない場合があります。
156	表「モバイルユーザ(KeyAccess+KeyCheckout)	ホストにKeyAccessとKeyCheckoutをインストールします。	→ ホストにKeyAccessとKeyCheckoutをインストールします。 WindowsNT系のホスト場合はインストール後にPCの再起動を必ず行なってください。
158	注意 QNDによるキー付けの制限箇条書きの3番目全て	・クライアントがWindowsNT3.51の場合…必要があります。 キー:HKKEY…¥Key32.exe 名前:Path 値:C:¥Program Files¥KeyServer	→ 削除
187	使用しているオペレーティングシステムの種類 Windows3.1	OSがWindows3.1の場合にチェックボックスをオンにします。	→ QND Ver.8.6ではWindows3.1クライアントは動作対象外です。
240	スレーブサーバの図の下の説明	①コンソールからマスターサーバへ指示	→ ①コンソールからマスターサーバへスケジュール実行指示
240	スレーブサーバの図の下の説明	②マスターサーバからホストへ指示。通常はマスターサーバからホストへ指示(UDP)するが、ホストがNAT対応の場合はスレーブサーバ経由で指示(TCP)。	→ ②マスターサーバからホストへスケジュール実行指示 QPオプションがUDPモードの場合は、マスターサーバからホストへ直接スケジュール実行の指示を送信します。 QPオプションがTCPモードの場合は、スレーブサーバ経由でスケジュール実行指示を送信します。
240	スレーブサーバの図の下の説明	③④ホストからデフォルトサーバへタスクの設定内容を問い合わせし、タスクの内容を処理 (③④ アプリケーションDB に関するタスクの問い合わせはマスターサーバ)	→ ③④ホストからデフォルトサーバへタスクの設定内容を問い合わせし、タスクの内容を処理 (UDP/TCP) (③④ アプリケーションDB に関するタスクの問い合わせはマスターサーバ)
241	スレーブサーバの役割 ホストを分散化し管理するスレーブサーバ	・TCPモードの場合マスターサーバの指示に従ってホストにプッシュ実行する	→ ・QPオプションがTCPモードのクライアントに対して、スケジュール実行指示を送信
241	スレーブサーバの役割 ホストを分散化し管理するスレーブサーバ	・各ホストへスケジュールを送信する	→ ・各ホストへスケジュールタスクを送信する
247	スレーブサーバからマスターサーバへ	設定箇所については「6-1 ホストを分散化し管理するスレーブサーバの場合 スレーブサーバで取得したホストやインベントリ情報をマスターサーバへ転送するには？」を参照してください。	→ 設定箇所については「6-1 ホストを分散化し管理するスレーブサーバ スレーブサーバで取得したホストやインベントリ情報をマスターサーバへ転送するには？」を参照してください。
247	マスターサーバからスレーブサーバへ	設定箇所については「6-1 ホストを分散化し管理するスレーブサーバの場合 マスターサーバとスレーブサーバとの同期をとるには？」を参照してください。	→ 設定箇所については「6-1 ホストを分散化し管理するスレーブサーバ マスターサーバとスレーブサーバとの同期をとるには？」を参照してください。
253	マスターサーバからスレーブサーバへ	設定箇所については「6-2 ホストを分散化し管理するスレーブサーバの場合 マスターサーバとスレーブサーバとの同期をとるには？」を参照してください。	→ 設定箇所については「6-1 ホストを分散化し管理するスレーブサーバ マスターサーバとスレーブサーバとの同期をとるには？」を参照してください。
260	手順7 画像	赤丸がついている箇所が違う	→ 正しくはサーババージョンの「8.2…」とバージョンが表示されている箇所に赤丸がつかます。
260	4-4 クライアント主導で行う実行	手順については「導入編」マニュアル「V スレーブサーバのインストール」の「4-4 クライアント主導で行う実行」を参照してください。	→ 手順については「導入編」マニュアル「V スレーブサーバ」の「4-4 クライアント主導で行う実行」を参照してください。
261	3行目	「スレーブサーバの設定」を参照してください。	→ 「2-4 スレーブサーバの種類の選択とデータ転送のタイミングの設定」、「2-4 スレーブサーバの種類の選択とデータ転送のタイミングの設定」を参照してください。
263	各スレーブサーバの「サーバ固有の設定」の変更をするには？ 手順2	詳しくは「リファレンスマニュアル」の「IV サーバ固有の設定」を参照してください。	→ 詳しくは本マニュアルの「IV サーバ固有の設定ダイアログ」を参照してください。
281	表の一番最後の行	CSV番号:120 名称:ドライブの種類 説明:A~E以外のドライブ可変	→ CSV番号:130 名称:ドライブの種類 説明:A~E以外のドライブ可変
282	表の一番上の行	CSV番号:130 名称:ドライブの種類 説明:A~E以外のドライブ可変	→ 削除
334	表 No.39「ドライブ総容量」	「Unix エージェント」欄 ○	→ ×
334	表 No.40「空き容量」	「Unix エージェント」欄 ○	→ ×

QIV Ver.4.6 正誤表

2004年10月22日 クオリティ株式会社

※今回新たに追加した内容はありません

ページ	誤	正	
11	⑤QIV設定コンソールでの設定/各種集計ユーティリティの実行	…「IV QIVの基本操作 2QIV設定コンソール」を参照してください。	→ …「IV QIVの基本操作 2データの集計QIV設定コンソール」を参照してください。
11	⑥台帳の表示	…「V 各台帳の使用法」を参照してください。	→ …「V 各台帳の説明」を参照してください。
14	1-1 QIVコンソールの対応OS	Windows NT 4.0(SP6a)	→ 削除
19	1-2 インベントリの収集	…「I QIVとは 1-2 QIVで作成できる台帳」…	→ …「I QIVを使うには 2 QIVで作成できる台帳」…
24	手順5	(Ⅲ QIVを使用する前に 2-1 QIVユーザの設定…	→ (Ⅲ QIVを使用する前に 1-1 QIVユーザの設定…
27	表中 カスタム台帳作成/編集ウィザード	…「V 各台帳の使用法 21 カスタム台帳」…	→ …「V 各台帳の説明 21 カスタム台帳」…
36	3-4 列順の変更	…「5-2 項目の追加/削除」を参照してください。	→ …「IV 台帳の設定 2 台帳項目の追加/削除」を参照してください。
38	ヒント データの絞り込み	…「5-2 項目の追加/削除」を参照してください。	→ …「IV 台帳の設定 2 台帳項目の追加/削除」を参照してください。
51	ヒント 表示される項目	…「Ⅲ QIV を使用する前に」の「2-3 QIV 管理ソフトウェアの選択」を参照してください。	→ …「Ⅲ QIVを使用する前に」の「1-3 QIV 管理ソフトウェアの選択」を参照してください。
57	注意	MS-Office台帳では、QAWの…	→ MS-Office台帳では、QNDの…
64	章本文	対象ソフト及びバージョンについては「 http://www.quality.co.jp/products/QND/adobe/ 」を参照してください。	→ 対象ソフト及びバージョンについては「 http://www.quality.co.jp/products/QND/kinou/daiyou_QIV.html 」を参照してください。
64	Windows の場合 1 手順1	(詳しくは「2-2 インベントリの収集」を参照してください。)	→ (詳しくは「Ⅲ QIV を使用する前に 1-2 インベントリの収集」を参照してください。)
64	Macintosh の場合 手順 1	詳しくは、「導入編」マニュアルの「付録 3 Macintosh クライアントの制限」の章を参照してください。	→ 詳しくは、「導入編」マニュアルの「付録 2 Macintosh クライアントの制限」の章を参照してください。
74	ヒント 表示される項目	QIV 管理ソフトウェアについては、「2-3 QIV 管理ソフトウェアの選択」を参照してください。	→ QIV 管理ソフトウェアについては、「Ⅲ QIVを使用する前に 1-3 QIV 管理ソフトウェアの選択」を参照してください。
76	ヒント 表示される項目	QIV 管理ソフトウェアについては、「2-3 QIV 管理ソフトウェアの選択」を参照してください。	→ QIV 管理ソフトウェアについては、「Ⅲ QIVを使用する前に 1-3 QIV 管理ソフトウェアの選択」を参照してください。
91	表 条件設定	条件の追加方法については「3-3-5 検索」を参照してください。	→ 条件の追加方法については「IV QIV の基本操作」の「3-5 検索」を参照してください。
93	表 条件設定	条件の追加方法については「3-3-5 検索」を参照してください。	→ 条件の追加方法については「IV QIV の基本操作」の「3-5 検索」を参照してください。